

今月の新着本



西ロライブラリーに新しく入った本を
一部紹介します。

開かれた対話と未来 ヤーコ・セイックラ ほか著／斎藤 環 監訳／NHK 出版(146 セイツ)	逃避行 小杉 健治 著／双葉社(F-コスギ)
世襲の日本史 本郷 和人 著／NHK 出版(210. 1-ホンゴ)	時を壊した彼女 古野 まほろ 著／講談社(F-フルノ)
はじめての iDeCo 宮崎 哲也 著／秀和システム(364-ミヤザ)	極上の罫をあなたに 深木 章子 著／KADOKAWA(F-ミキア)
いちからわかる円山応挙 岡田 秀之 著／新潮社(721-マルヤ)	死者を答打て 鮎川 哲也 著／光文社(PF-アユカ)
革命と戦争のクラシック音楽史 片山 杜秀 著／NHK 出版(762-カタヤ)	水平線がきらつきらっ 香納 諒一 著／双葉社(PF-カノウ)
日本語と論理 飯田 隆 著／NHK 出版(810-イイダ)	犬神館の殺人 月原 渉 著／新潮社(PF-ツキハ)
明日の僕に風が吹く 乾 ルカ 著／KADOKAWA(F-イヌイ)	メインテーマは殺人 アンソニー・ホロヴィッツ 著／山田 蘭 訳／東京創元社(P933-ホロビ)
テレビドラマよ永遠に 鯨 統一郎 著／光文社(F-クジラ)	わが母なるロージー ピエール・ルメートル 著／橋 明美 訳／文藝春秋(P953-ルメト)

浪漫紀行 福島

菊や牡丹、梅など草花の絵が色鮮やかに描かれた会津絵ろうそくは、会津漆器とともに城下町会津若松を代表する伝統工芸品です。会津藩主芦名盛信公が漆の栽培を勧め、漆器の製造とともに漆の実から採れる蠟でろうそくを作らせたことが始まりといわれています。以後会津藩に保護・奨励されながら、伝統の技が受け継がれてきました。会津の婚礼の際には、一対の会津絵ろうそくが灯され、これが「華燭の典」の語源になったとも言われています。毎年2月には、鶴ヶ城をはじめ、会津若松市内各所にて、約1万本のろうそくを灯す「会津絵ろうそくまつり」が開催されますので、訪ねてみてはいかがでしょうか。

参考文献:『福島県の歴史散歩』福島県高等学校地理歴史・公民科(社会科)研究会 編／山川出版社(K291. 2-フクシ)
『福島遺産百選ガイドブック』福島民友新聞社(K291. 2-フクシ)

クイズの答え

- A-青森県、 B-山形県、 C-福島県、
D-秋田県、 E-岩手県、 F-宮城県

図書館カレンダー 12月

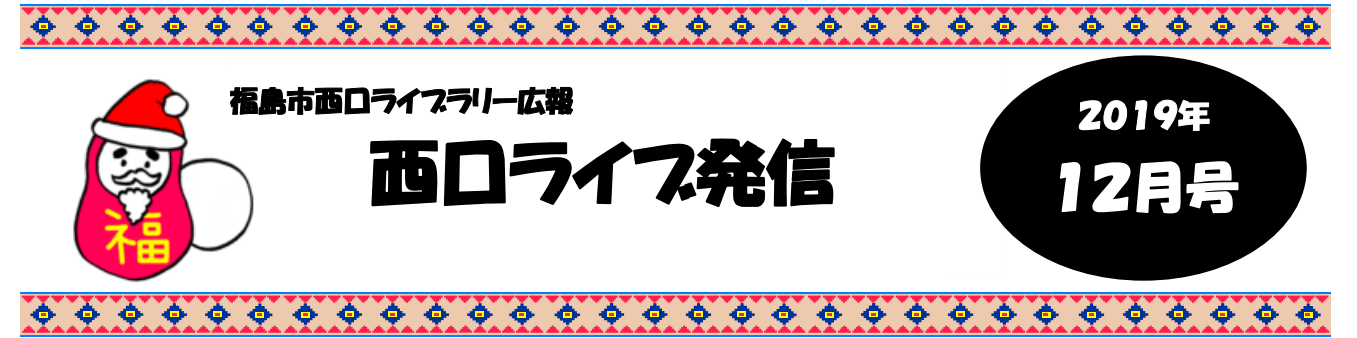
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

印は休館日

2019年12月1日発行

編集：福島市西ロライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL024-531-6551

ホームページ：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



今月の新着本案内



『誰も知らない
レオナルド・ダ・ヴィンチ』
斎藤 泰弘 著
NHK出版(702-レオナ)
ダ・ヴィンチは、芸術だけでなく、解剖学や天文学、物理学など様々な分野で功績を残しました。凶像と鏡文字のみで書かれた手稿をもとに、「天才」といわれた彼の思考や考察などを読み解き、素顔に迫ります。



『記憶する体』
伊藤 亜紗 著
春秋社(369-イトウ)
神経が切れた足が痛む、耳が聞こえないが背後からの気配を感じる…このような現象はいかにして起こるのか。そこには体に刻まれた記憶が密接に関係していた。本書では11のエピソードを通して、記憶と体の関係をひもとく。



『基礎からわかるおいしいカキ栽培』
倉橋 孝夫・大畑 和也 著／農山漁村文化協会(625-クラハ)
カキには、風邪や生活習慣病などの予防効果があるといわれ、健康志向の高まりから海外でも人気上昇しています。栽培地域に適した品種を選ぶコツ、季節ごとの管理方法などを写真や図表入りで紹介。おいしいカキ作りのための入門書です。



『マボロシの茶道具図鑑』
依田 徹 著
淡交社(791-ヨダト)
マボロシの茶道具とは、失われてしまったか、所在不明の茶道具のことです。これらを、現在残っている資料を基にイラストで再現し、解説します。また、織田信長や千利休といった茶道具愛好家のエピソードも楽しめる一冊です。



『クルーズ旅行術 ガイドブック 知らない達人のコツ50』
小磯 紀子 著
メイツ出版(290-コイツ)
累計宿泊80日を超える著者がクルーズ旅行の魅力を語りつくします。日本船と外国船の違いから、船内生活の楽しみ方まで最高の旅にするためのポイントが満載です。この本を参考に、クルーズ旅行へ出かけてみませんか。

展示★名作案内

MAKE

つくるって楽しい!



書くひとの館

142号室

 似鳥 鶏
 (にたどり けい)

100億人のヨリコさん

光文社(F-ニタ)

1981年千葉県生まれ。2006年、『理由(わけ)あって冬に出る』で第16回鮎川哲也賞に佳作入選し、デビュー。『戦力外捜査官』シリーズをはじめ、数多くの作品を執筆。青春ミステリーからホラーまで幅広い作風で知られ、現在も精力的に活動をしている。



大学二年生の小磯は、大学の規則により、住み慣れた寮から別の寮へ移ることになった。格安の家賃に惹かれ選んだ「富穰寮」は、廃屋のような佇まいで、住人も変人ばかり。さらに、そこは依子さんという血まみれの女性が天井や窓の外に現れるという噂がある。

小磯は、寮生と協力して、依子さんの謎を解明しようとするが、それは世界中を巻き込む大事件へと発展していき…。

～隠し部屋～

怪談や都市伝説が大好き。しかし、大変な怖がりで、細く開いている押し入れのふすまや窓がついているエレベーターなどが苦手。

～その他の作品～

『午後からはワニ日和』 2012年
 『彼女の色に届くまで』 2017年
 『育休刑事』 2019年

ほか

クイズ解かっせ

職人の匠の技が光る伝統工芸。下記は東北6県で作られている工芸品です。それぞれ、該当する県を教えてください。

A : 南部裂織 B : 置賜紬 C : 大堀相馬焼
 D : 川連漆器 E : 秀衡塗 F : 雄勝硯



※答えは最後のページ

『修道院のお菓子と手仕事』

 柘 こずえ・早川 茉莉 著
 大和書房(198-ヒイラ)

「修道院の手作りもの」愛好家である筆者が、全国の修道院を訪れ、そこで出会ったものを紹介します。一つ一つ、祈りや思いが込められたお菓子や雑貨たち。それは素朴ながら不思議な魅力を持ち、手にした人を癒してくれます。



『未来製作所』

 太田 忠司・北野 勇作 ほか 著
 幻冬舎(F-ミライ)

犬とパソコンを一緒にするというアイデアを実現したロボット、ポチ。彼は、仕事にかかせない存在となり、良きパートナーになった。しかし、10年後ポチは、動けなくなり…。(「dogcom」)

未来のものづくりをテーマにした短編集。

『新薬の狩人たち』

ドナルド・R・キルシュ オギ・オーガス 著/寺町 朋子 訳/早川書房(499-キルシ)

今では手軽に手に入る医薬品。しかし、その歴史はあまり知られていない。太古の昔、薬草を片っ端から試すだけだった人類は、どのようにして薬を開発するにいたったのか。

新薬研究の第一線で活躍する著者による科学ノンフィクション。



『現代の職人』

 早坂 隆 著
 PHP研究所(502-ハヤサ)

伝統品である江戸切子や加賀友禅、甲冑などの品々は、どのようにして生み出されるのか。著者が、日本の手仕事を支える全国の職人を訪ねます。

仕事に取り組む姿勢やこだわりなどから、ものづくりの本質に迫ります。



『雑貨&フードラッピングブック』

 オギハラ ナミ 著
 誠文堂新光社(385-オギハ)

様々な素材を使ったユニークなラッピングが多数紹介されています。アクセサリー入れにはマッチ箱をリメイク。本にはお手製のブックカバーを。フルーツには手さげをつけて…。

贈りものを彩るヒントをくれる1冊です。